

【報 告】 グリーンロジスティクスチェックリスト 調査結果の概要

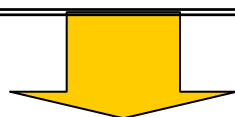
ロジスティクス環境会議 事務局

0. はじめに

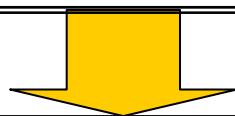
時刻	内容
14:35 ~ 15:00	【報告】 「グリーンロジスティクスチェックリスト 調査結果の概要」 <ul style="list-style-type: none">● グリーンロジスティクスチェックリストとは？● 調査結果の概要
15:00 ~ 16:25	【パネルディスカッション】 「グリーンロジスティクスチェックリスト活用の すすめ」 <ul style="list-style-type: none">● 取組のヒントを探る● グリーンロジスティクスチェックリスト及び 簡易診断結果の活用方法● その他（質疑応答等）

1. グリーンロジスティクス チェックリストとは？

- 物流・ロジスティクスに携わる企業においても、「**輸送**」、「**包装**」、「**保管・荷役・流通加工**」等の物流活動で膨大な環境負荷物質を排出（物流部門・物流企業も環境負荷の発生源：源流）



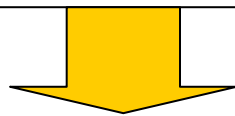
- 効率的でかつ環境負荷の少ないロジスティクスを実現するために必要となる活動項目等を整理できないか？



LEMSチェックリスト（111項目）
（2001年、2003年改訂）



企業回答者にとって回答しにくい
・「実施中」の基準が分からない
・項目の内容が実務と合致しない 等



「グリーンロジスティクスチェックリスト」の策定

<チェックリストの策定> (2006年8月～2008年3月)

第2期ロジスティクス環境会議

「**グリーンサプライチェーン推進委員会 源流管理分科会**」で2008年3月に策定

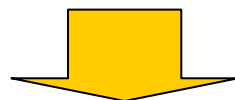
<源流管理分科会>

□幹事(敬称略)

流通経済大学 矢野 裕児、リコーロジスティクス(株) 菅田 勝

□メンバー(50音順)

愛知陸運(株)、(株)エプソンロジスティクス、オリンパス(株)、鴻池運輸(株)、
センコー(株)、大和物流(株)、東芝物流(株)、日本通運(株)、プラネット物流(株)、
文化ファッション大学院大学、(株)ヤマタネ



<チェックリストを用いた調査等> (2008年5月～)

第3期ロジスティクス環境会議「**グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG**」で実施

<グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG>

□幹事(敬称略)

流通経済大学 矢野 裕児、リコーロジスティクス(株) 菅田 勝

□メンバー(敬称略)

鴻池運輸(株) 狩谷 順二、東芝物流(株) 堀口 英雄

1-3. グリーンロジスティクスチェックリストとは

特長1

特長2

特長3

グリーンロジスティクスチェックリスト Ver1.0

2008/3/11

分類	No.	チェック項目	実施度合い				備考欄には、実施事項の進捗状況や取り組みの状況、取り組みの成果、取り組むべき事項を記載して下さい。
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている	
方針 1-1 全社的な取り組み ①グリーンロジスティクスのための仕組み、体制の整備	1	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	企業の環境方針、行動計画等を策定していない。	企業の環境方針、行動計画等を策定しているが、トップのコミットメントがない、もしくはコミットメントの有無が不明である。	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	本館に加え、企業の環境方針については、社内のみならず社外へも積極的に公表している。	トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(国連エコロジーマネジメント計画) http://www.nccco.co.jp/top/green_management_manual/truck_english.pdf
	2	環境委員会や環境部門で、ロジスティクス分野における方針が策定されている。	ロジスティクス分野における方針が存在しない。	ロジスティクス分野における方針を策定中である。	ロジスティクス分野における方針は策定されているが、具体的な実施計画等にはリンクしていない。	ロジスティクス分野における方針、目標、重点施策を策定し、それに基づいた活動を実施している。	
	3	グリーンロジスティクスを推進する体制が構築されている。	グリーンロジスティクスを推進する体制が存在しない。	環境部門の設置、もしくは環境担当者が選任されているのみで、各事業所を含めた推進体制構築までは至っていない。	各事業所を含めた全社的な推進体制が構築され、それぞれ責任者が任命されている。	本館に加え、各段階で、定期的な集合が開催されている。	トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(国連エコロジーマネジメント計画) http://www.nccco.co.jp/top/green_management_manual/truck_english.pdf
	4	グリーンロジスティクス推進に向けての計画があり、周知徹底している。	グリーンロジスティクス推進に向けての計画は存在しない。	本館の計画を策定中である。	本館の計画は策定しているが、策定部門以外は把握していない。	本館の計画を策定し、全社的に周知徹底している。	トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(国連エコロジーマネジメント計画) http://www.nccco.co.jp/top/green_management_manual/truck_english.pdf
	5	グリーンロジスティクス推進のため、社員へ教育(人材育成)を行っている。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練を実施しておらず、検定も行ったことはない。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練実施に向けて、検討している。	ロジスティクス関係部門を対象とした教育訓練は実施しているが、定期的かつ計画的なものではない。	環境に関する教育メニューを整理し、ロジスティクス関係部門に対し、定期的かつ計画的に教育訓練を実施している。	トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(国連エコロジーマネジメント計画) http://www.nccco.co.jp/top/green_management_manual/truck_english.pdf グリーンロジスティクスエコシステム構築、グリーン物流基礎コース(JL&G) http://www.logistics.jp/education/campus/feature.html
	6	ロジスティクス活動において発生する環境負荷の項目を把握している。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目を把握していない。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目の一部は把握しているが、全て把握できていない。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目を全て把握、整理できている。	本館に加え、把握、整理した内容を方針や計画の策定の際に応用している。	
	7	海外拠点を含めて、ロジスティクス分野における環境対策を実施している。	海外拠点、国際物流については、実施者を含めて全く把握していない。	海外拠点、国際物流については、環境対応を実施していない。	海外拠点、国際物流については、事業所ごとに環境対応を進めている。	海外拠点、国際物流について、会社として統一的に環境対応を進めている。	
	8	ロジスティクス分野において、法令遵守(環境負荷削減、省エネ/省CO2削減、資源循環)の取り組みの進捗に定期的にチェックをしている。	自社が遵守しなければならない法令が整理されていない、もしくは整理されているかどうか不明である。	ロジスティクス分野に関連して遵守しなければならない法令を整理しているが、該当する部門の従業員への周知や教育を行っている。	ロジスティクス分野に関連して遵守しなければならない法令を従業員へ周知・教育を実施している。	本館に加え、定期的な内部監査等でチェックしている。	+OGL 関係者 http://www.o-gl.co.jp/green/press.html
	9	ISO14000を取得している(自己宣言報告の活動をしている)。	ISO14000を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	ISO14000の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でISO14000を取得している。	全社でISO14000を取得している。	+日本工業標準化協会 ホームページ http://www.jis.go.jp/www/iso-14001.html
	10	エコアクション21を取得している(自己宣言報告の活動をしている)。	エコアクション21を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	エコアクション21の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でエコアクション21を取得している。	全社でエコアクション21を取得している。	+財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター http://www.a21.jp/
	11	グリーン経営認証を取得している(自己宣言報告の活動をしている)。	グリーン経営認証を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	グリーン経営認証の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でグリーン経営認証を取得している。	全社でグリーン経営認証を取得している。	+国連エコロジーマネジメント計画ホームページ http://www.nccco.co.jp/top/truck_english/gm20080303.pdf

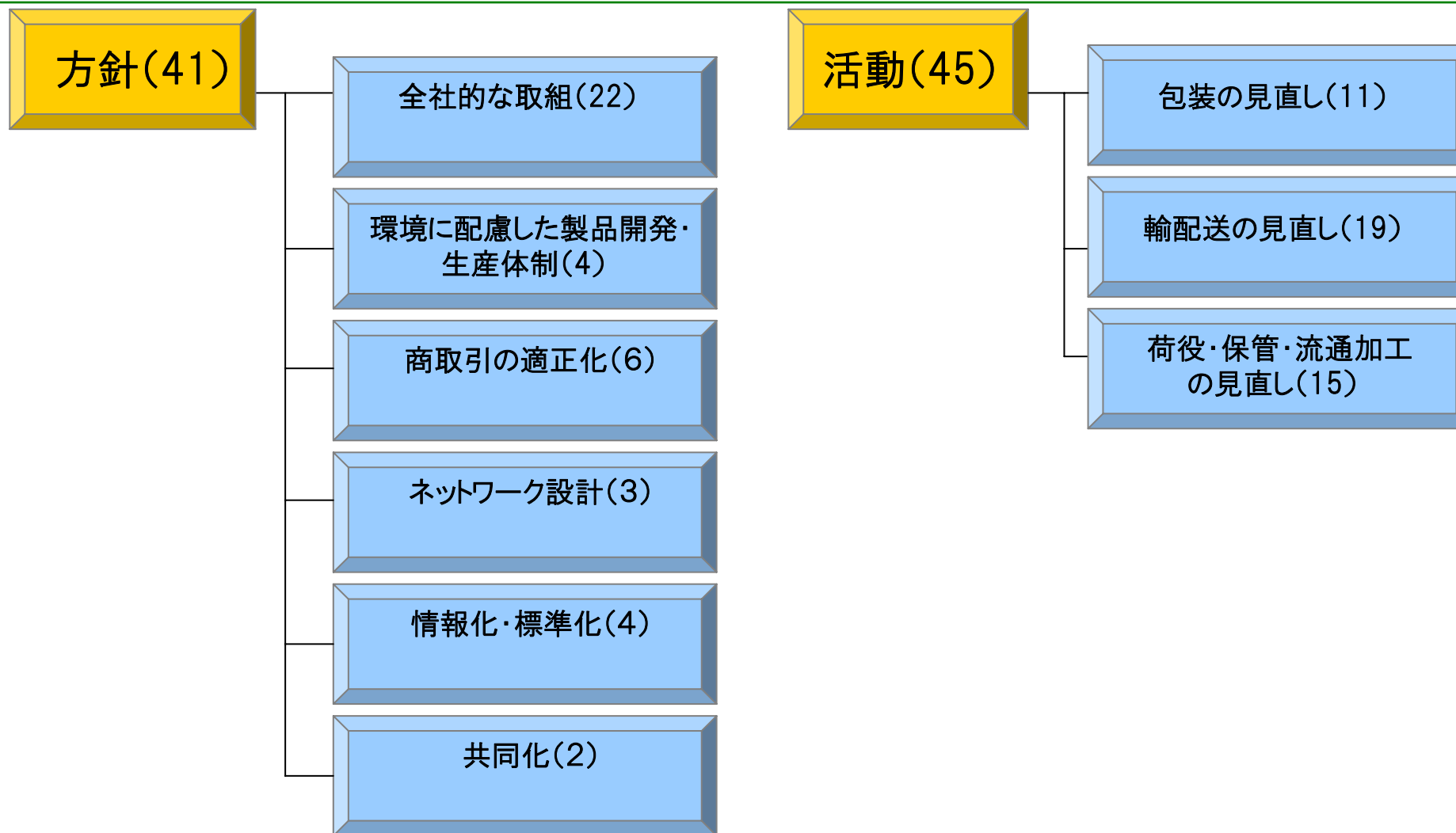
特長1：全86項目のチェック項目

⇒環境方針展開、組織体制構築から、
物流部門にとって身近な活動項目、
さらには他部門、取引先との連携を
意識した項目まで網羅

特長2：4段階の実施レベル（実施度合い） の策定

特長3：参考情報の掲載

1-5. グリーンロジスティクスチェックリストの構成(大分類)



○86項目が、「方針」、「活動」から構成される。

○製品開発、生産体制、商取引等といった他部門や取引先との連携を意識した項目

○大分類の数: 9

1-6-1. グリーンロジスティクスチェックリストの構成(中分類_方針)

方針

1.1全社的な取り組み

①グリーンロジスティクスのための仕組み・体制の整備

②公害の防止・軽減

1.2環境に配慮した製品開発・生産体制

①製品開発

②生産体制

1.3商取引の適正化

①ロットの適正化

②頻度・時間の適正化

③返品・回収の適正化

1.4ネットワーク設計

①立地戦略

②モーダルシフトの推進

1.5情報化・標準化

①情報化の推進

②スペック・サイズの標準化

1.6共同化

①共同輸配送の実施

②保管施設の共同化

1-6-2. グリーンロジスティクスチェックリストの構成(中分類__活動)

活動

2.1 包装の見直し

① 包装資材の廃止・スリム化

② リユース・リサイクル

③ 環境負荷の低い素材の使用

④ 低公害機器の導入

2.2 輸配送の見直し

① 輸配送計画の見直し

② 積載率の向上

③ 点検・整備・安全管理

④ エコドライブ

⑤ 低公害車両の導入

2.3 荷役・保管・流通加工の見直し

① 機器導入・運用の工夫

② 施設設計・レイアウト

③ 物量の平準化

④ 資材削減・変更

○中分類の数:26

1-7. 実施度合いと参考情報

No	チェック項目
1	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。

実施度合い			
1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. まずまず出来ている	4. よく出来ている
企業の環境方針、行動計画等を策定していない	企業の環境方針、行動計画等を策定しているが、トップのコミットメントがない、もしくはコミットメントの有無が不明である	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている	左記に加え、企業の環境方針については、社内のみならず社外へも積極的に公表している

参考情報、関連団体等
<p>・トラック運送事業におけるグリーン経営認証マニュアル(交通エコロジー・モビリティ財団) http://www.ecomo.or.jp/topix/green_management_manual_truck_mokuji.pdf</p>

1-8. グリーンロジスティクスチェックリストへの回答

方針/活動

大分類(9)

中分類(26)

チェック項目(86)

グリーンロジスティクスチェックリスト Ver1.0

2006/3/11

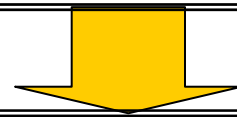
分類	No	チェック項目	実施度合い				参考情報	備考(実施計画等)
			1. 出来ていない	2. 遅れ気味で努力不足	3. ほぼ出来ている	4. よく出来ている		
方針 ① 全社的な取り組み	1	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	企業の環境方針、行動計画等を策定していない。	企業の環境方針、行動計画等を策定しているが、トップのコミットメントがない、もしくはコミットメントの裏付けが不十分である。	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	本誌に加え、企業の環境方針については、社内のみならず社外へも積極的に公表している。	トヨタ物流事業におけるグリーン経営戦略マニュアル(環境エコロジーマネジメント) http://www.tosco.co.jp/top/green_management_manual/track_logh.pdf	
	2	環境委員				ロジスティクス分野における方針、目標、重点施策を策定し、それに基づいた活動を実施している。		
	3	グリーン				本誌に加え、各段階で、定期的に報告が提供されている。	トヨタ物流事業におけるグリーン経営戦略マニュアル(環境エコロジーマネジメント) http://www.tosco.co.jp/top/green_management_manual/track_logh.pdf	
	4	グリーン				本誌の計画を策定し、全社的に周知徹底している。	トヨタ物流事業におけるグリーン経営戦略マニュアル(環境エコロジーマネジメント) http://www.tosco.co.jp/top/green_management_manual/track_logh.pdf	
	5	グリーンロジスティクス推進のため、社員へ教育(人材育成)を行っている。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練を実施しておらず、検討も行ったことはない。	グリーンロジスティクス推進のための教育訓練実施に向けて、検討している。	ロジスティクス関係部門を対象とした教育訓練は実施しているが、定期的かつ計画的なものではない。	環境に関する教育メニューを整理し、ロジスティクス関係部門に対し、定期的かつ計画的に教育訓練を実施している。	トヨタ物流事業におけるグリーン経営戦略マニュアル(環境エコロジーマネジメント) http://www.tosco.co.jp/top/green_management_manual/track_logh.pdf グリーンロジスティクスエキスパート講座、グリーン物流基礎コース(はなし) http://www.tokai.co.jp/education/seminar/lecture.html	
	6	ロジスティクス活動において発生する環境負荷の項目を把握している。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷の項目を把握していない。	自社のロジスティクス活動で発生する環境負荷を把握している。	本誌に加え、把握、管理した内容を方針や計画の策定の機に活用している。			
	7	海外拠点を含めて、ロジスティクス分野における環境対策を実施している。	海外拠点、国際物流については、実施有無を全て全く把握していない。	海外拠点、国際物流については、環境対応している。	海外拠点、国際物流については、環境対応している。	海外拠点、国際物流について、会社として統一的に環境対応を進めている。		
	8	ロジスティクス分野において、法令遵守(環境関係法規、各種リサイクル法、資源循環法)の取組に努めている。	自社が遵守しなければならない法令が把握されていない、もしくは把握されているかどうか不明である。	ロジスティクス分野に関連して遵守しなければならない法令を整理しているが、該当する部門の従業員への周知や教育を行っている。	ロジスティクス分野に関連して遵守しなければならない法令を従業員へ周知・教育を実施している。	本誌に加え、定期的な内部監査等でチェックしている。	ISO14000 関係法令 http://www.tokai.co.jp/green/law.html	
	9	ISO14000を取得している(自己宣言報告の活動をしている)。	ISO14000を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	ISO14000の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でISO14000を取得している。	全社でISO14000を取得している。	日本工業標準化委員会 ホームページ http://www.jis.go.jp/www/iso-14001.html	
	10	エコアクション21を取得している(自己宣言報告の活動をしている)。	エコアクション21を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	エコアクション21の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でエコアクション21を取得している。	全社でエコアクション21を取得している。	財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター http://www.e21.jp/	
	11	グリーン経営認証を取得している(自己宣言報告の活動をしている)。	グリーン経営認証を知らない、もしくは取得の検討を行ったことがない。	グリーン経営認証の取得に向けて、検討している。	一部の事業所でグリーン経営認証を取得している。	全社でグリーン経営認証を取得している。	環境エコロジーマネジメント関係ホームページ http://www.tosco.co.jp/top/track_logh/track_logh.html	

回答欄には実施度合い(1、2、3、4)、もしくは0(該当しない)の5つのうち該当する番号をご回答下さい。

回答欄

※回答欄には、実施度合い(1、2、3、4)、もしくは0(該当しない)の5つのうち、該当する番号をご回答下さい。

【背景】チェックリストに回答することによる自己チェックに加えて、自社の取組度合いが他社の比べて、おおよそどの程度の位置づけか分かるとよいのではないかと？



「簡易診断結果」の作成・送付

＜簡易診断結果の内容＞

- ① 総括表
- ② 平均点の分布図
- ③ レーダーチャート
- ④ 中分類結果
- ⑤ 項目別結果

2008年5月28日

1-9-2. 簡易診断結果(①総括表)

グリーンロジスティクスチェックリスト 簡易診断結果

結果の全体が
把握できる

チェックをつけた
点数(1~4点)の
合計点

回答企業

ABC電機

業種

製造業

“平均点”から算出した順位

● 総括表

回答企業の平均点
(合計点÷「1~4と回答した」設問数)

回答企業の結果

この会社が属する
業種(この例では
製造業)の平均

回答企業全社の平均

		合計	方針	活動	貴社順位
貴社回答	合計	191	96	95	
	平均	2.22	2.34	2.11	
業種平均	合計	181	86.5	94.5	
	平均	2.1	2.11	2.1	3 / 4
全体平均	合計	177.7	81.7	95.9	
	平均	2.07	1.99	2.15	5 / 10

86項目全ての結果欄

方針(41項目)の結果欄

活動(45項目)の結果欄

<参考> 偏差値 52.7

“合計点”から算出した偏差値で平均が50

* 偏差値の値は順位とは直接関係ありません。



注: 本スライドで記載されている数値は仮の値です

(確認) 平均点の考え方

<回答>

・実施度合い(1、2、3、4)、もしくは0(該当しない)の5つのうち該当する番号を回答

<平均点の考え方>

・0(該当しない)という回答を除いて、集計

例

A社 1
B社 2
C社 3
D社 4
E社 0

$$(1+2+3+4+0) / 5 = 2.0$$

$$(1+2+3+4) / 4 = 2.5$$

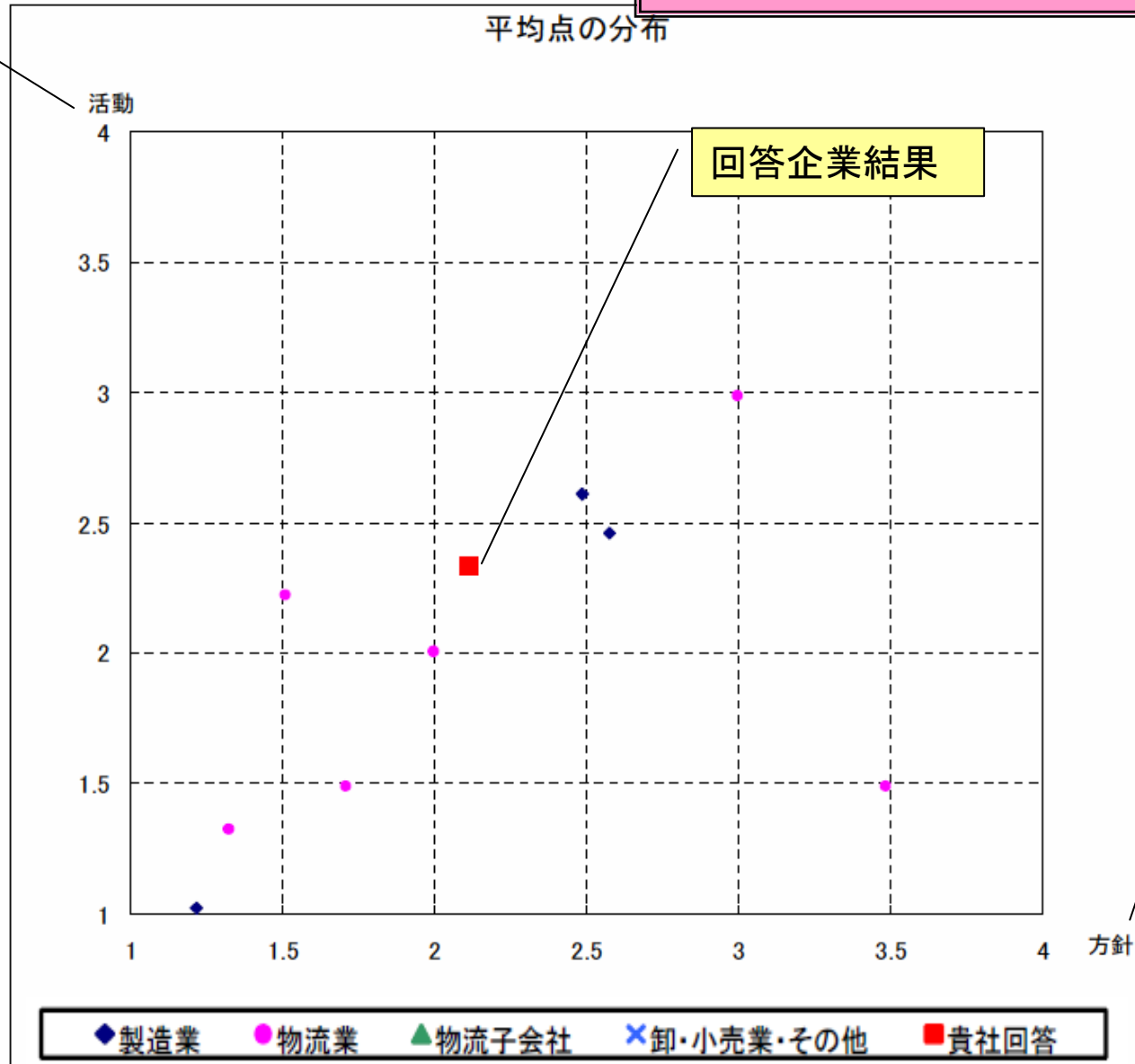
こちらの考え方
で算出

1-9-3. 簡易診断結果の解説(②平均点の分布)

●平均点の分布

自社及び他社の位置づけが把握できる

活動の
平均点



方針の
平均点



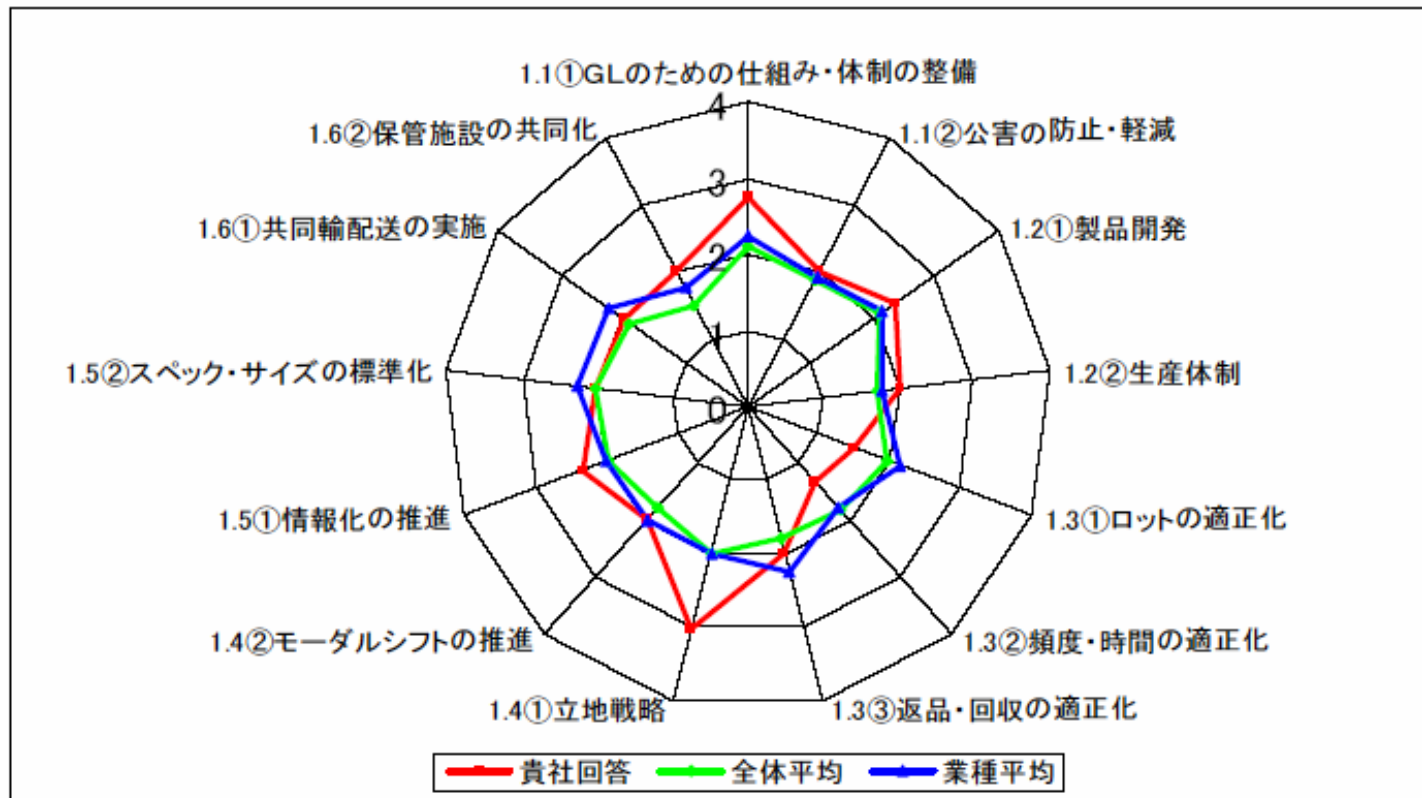
注: 本スライドで記載されている数値は仮の値です

1-9-4. 簡易診断結果(③レーダーチャート(方針))

中分類ごとに平均値を算出し、自社回答、全体平均、業種平均と比較することで、取り組みが進んでいる項目、遅れている項目が把握できる

●レーダーチャート

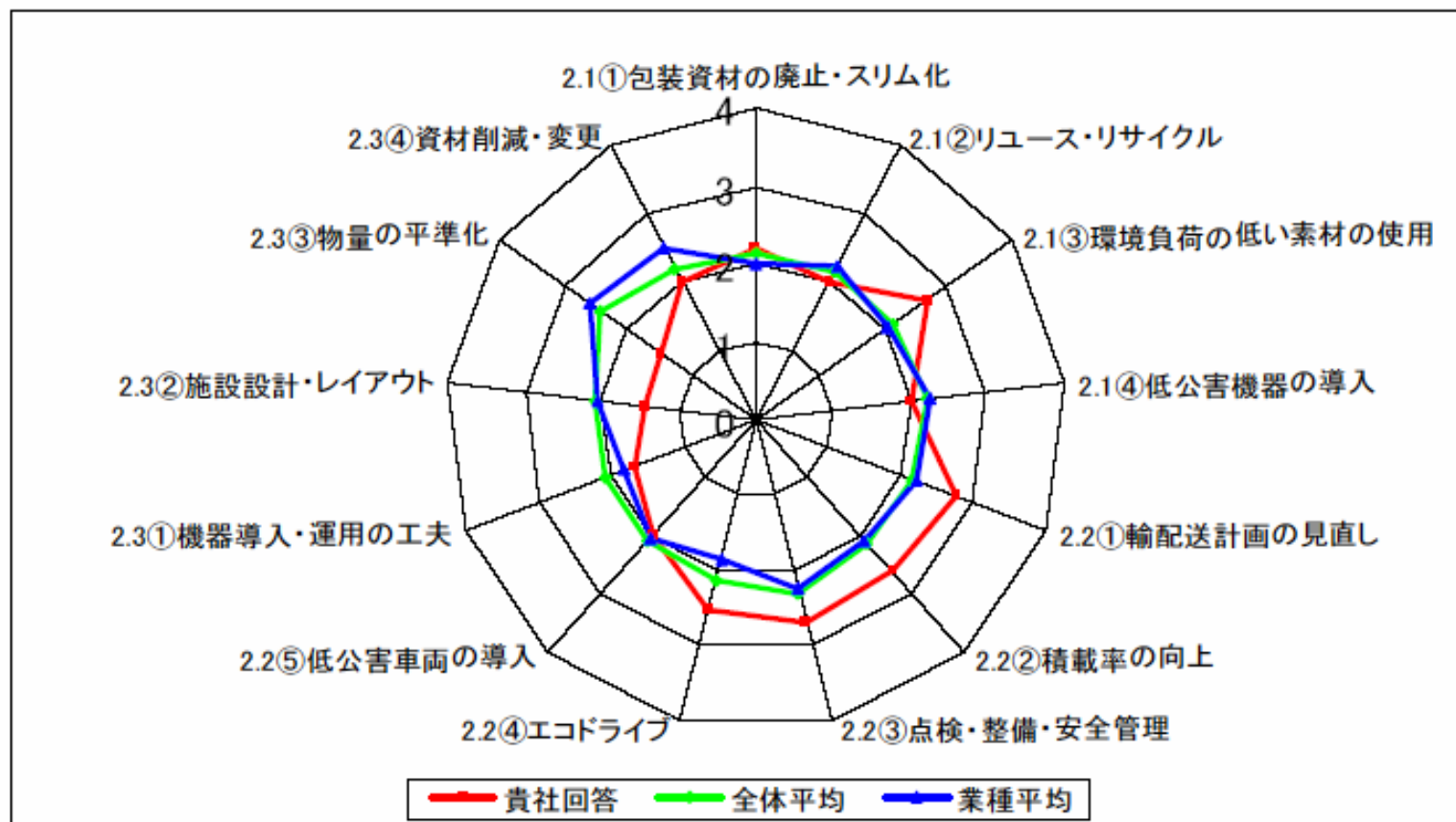
<方針>



1-9-5. 簡易診断結果(③レーダーチャート(活動))

中分類ごとに平均値を算出し、自社回答、全体平均、業種平均と比較することで、取り組みが進んでいる項目、遅れている項目が把握できる

<活動>



1-9-6. 簡易診断結果(④中分類結果)

前スライドのレーダーチャートを表にして数値を示すと共に、業種平均値を比べて、自社回答が上回ったかが一目で判断できる

【グリーンロジスティクスチェックリスト中分類結果】 回答企業名: ABC電機

方針

○: 自社回答が業種平均よりも高い

1.1 全社的な取り組み

① グリーンロジスティクスのための仕組み・体制の整備

貴社回答: 2.74 ○
業種平均: 2.24
全体平均: 2.11

② 公害の防止・軽減

貴社回答: 2 ○
業種平均: 1.92
全体平均: 1.87

1.2 環境に配慮した製品開発・生産体制

① 製品開発

貴社回答: 2.33 ○
業種平均: 2.17
全体平均: 2.1

② 生産体制

貴社回答: 2 ○
業種平均: 1.75
全体平均: 1.7

×: 自社回答が業種平均よりも低い

1.3 商取引の適正化

① ロットの適正化

貴社回答: 1.5 ×
業種平均: 2.12
全体平均: 1.95

② 頻度・時間の適正化

貴社回答: 1.33 ×
業種平均: 1.75
全体平均: 1.83



注: 本スライドで記載されている数値は仮の値です

1-9-7. 簡易診断結果(⑤項目別結果)

86項目すべての項目について、自社回答、業種平均、全体平均を示すとともに、業種平均値を比べて、自社回答が上回ったかどうか
が○×で判断できる

【グリーンロジスティクスチェックリスト項目別結果】 回答企業: ABC電機

方針

1.1 全社的な取り組み

① グリーンロジスティクスのための仕組み・体制の整備

No	1	企業の環境方針、行動計画等は、トップのコミットメントにより策定されている。	貴社回答: 3	○
			業種平均: 2	
			全体平均: 2.2	
No	2	環境委員会や環境部門で、ロジスティクス分野における方針が策定されている。	貴社回答: 3	○
			業種平均: 2.2	
			全体平均: 2	
No	3	グリーンロジスティクスを推進する体制が構築されている。	貴社回答: 4	○
			業種平均: 2.8	
			全体平均: 2.5	
No	4	グリーンロジスティクス推進に向けての計画があり、周知徹底している。	貴社回答: 3	○
			業種平均: 2.8	
			全体平均: 2.2	
No	5	グリーンロジスティクス推進のため、社員へ教育(人材育成)を行っている。	貴社回答: 4	○
			業種平均: 2.2	
			全体平均: 2	
No	6	ロジスティクス活動において発生する環境負荷の項目を把握している。	貴社回答: 3	○
			業種平均: 2.5	
			全体平均: 2.4	



注:本スライドで記載されている数値は仮の値です。

2. グリーンロジスティクスチェックリスト 調査結果の概要

【調査の目的】

企業等の環境取り組みの一助としていただく

回答企業：

- ①回答時の自己チェック
- ②簡易診断結果による他者等との比較

WG：

- ①集計・分析結果の取りまとめ、公表
- ②その他

【調査の概要】

2008年 8月～10月：調査実施

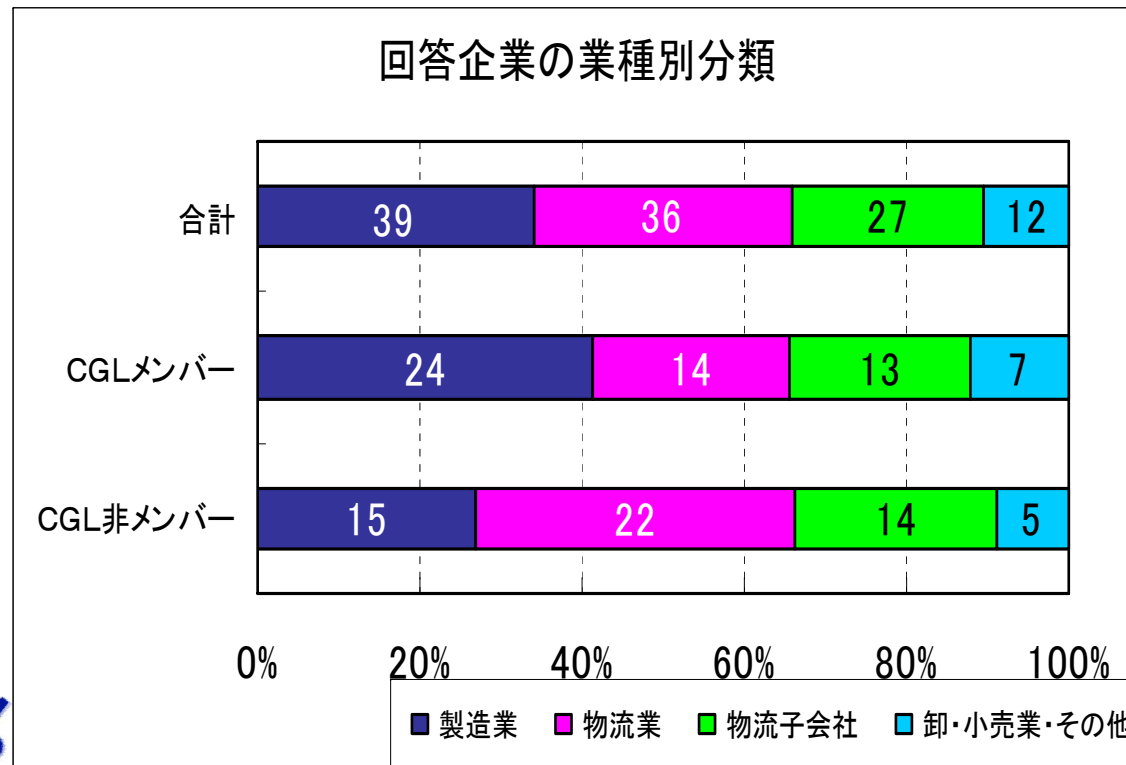
2008年11月～12月：集計

2008年12月下旬：簡易診断結果送付

2-2-1. 回答数

		合計	業種別			
			製造業	物流業	物流子会社	卸・小売業・その他
回答数		114	39	36	27	12
CGL	メンバー	58	24	14	13	7
	非メンバー	56	15	22	14	5

*CGL…ロジスティクス環境会議の略



<製造業の内訳>

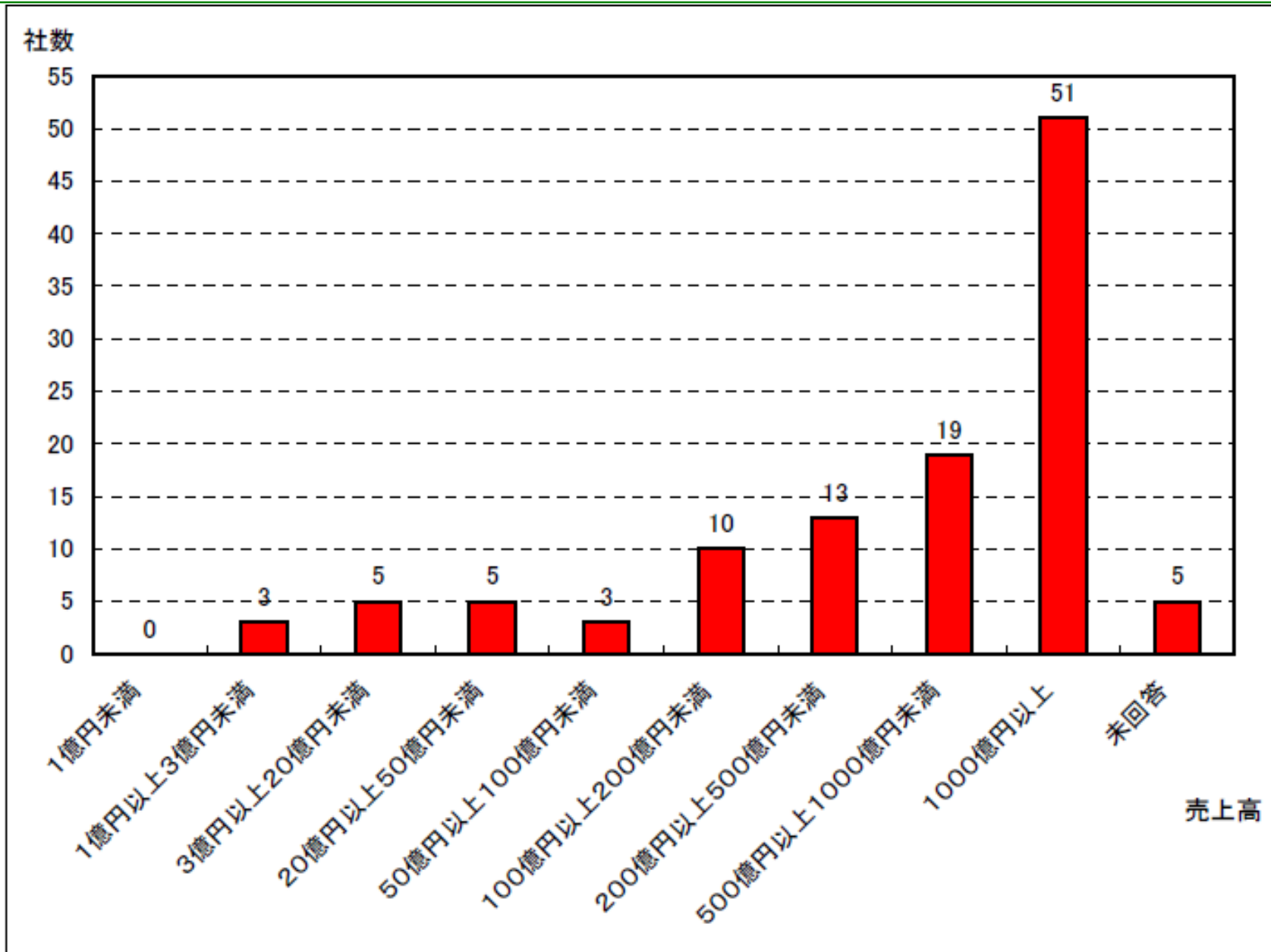
中分類	社数
食品	11
化学	3
繊維・製紙	2
医薬品	2
電機・機器	11
自動車	2
その他	8

<物流業の内訳>

中分類	社数
陸上輸送	21
海運	1
空運	2
鉄道	0
倉庫	17
利用運送・物流管理業	15
その他	2

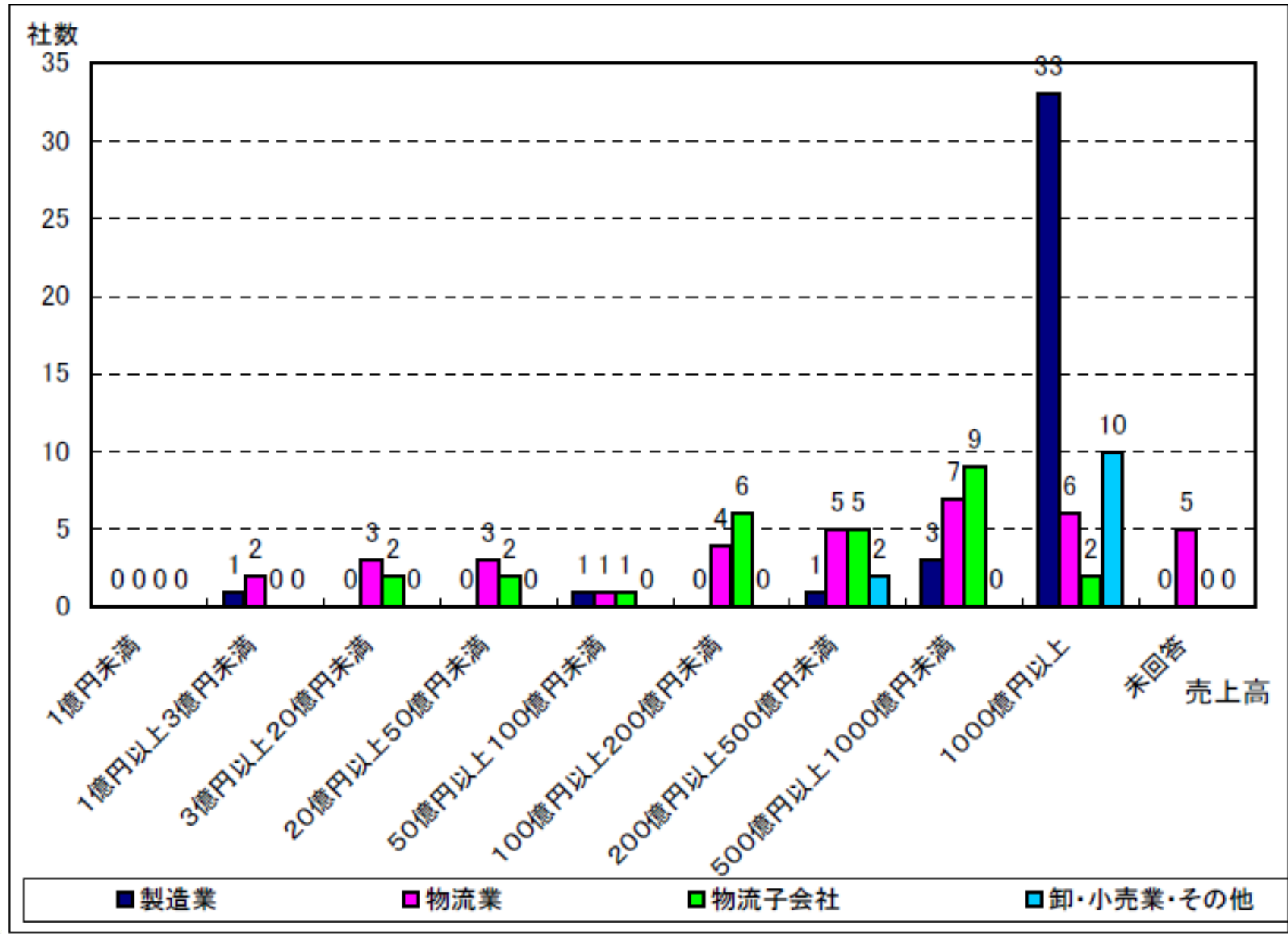
*物流業は複数選択

2-2-2. 回答数(年間売上高別_全社)



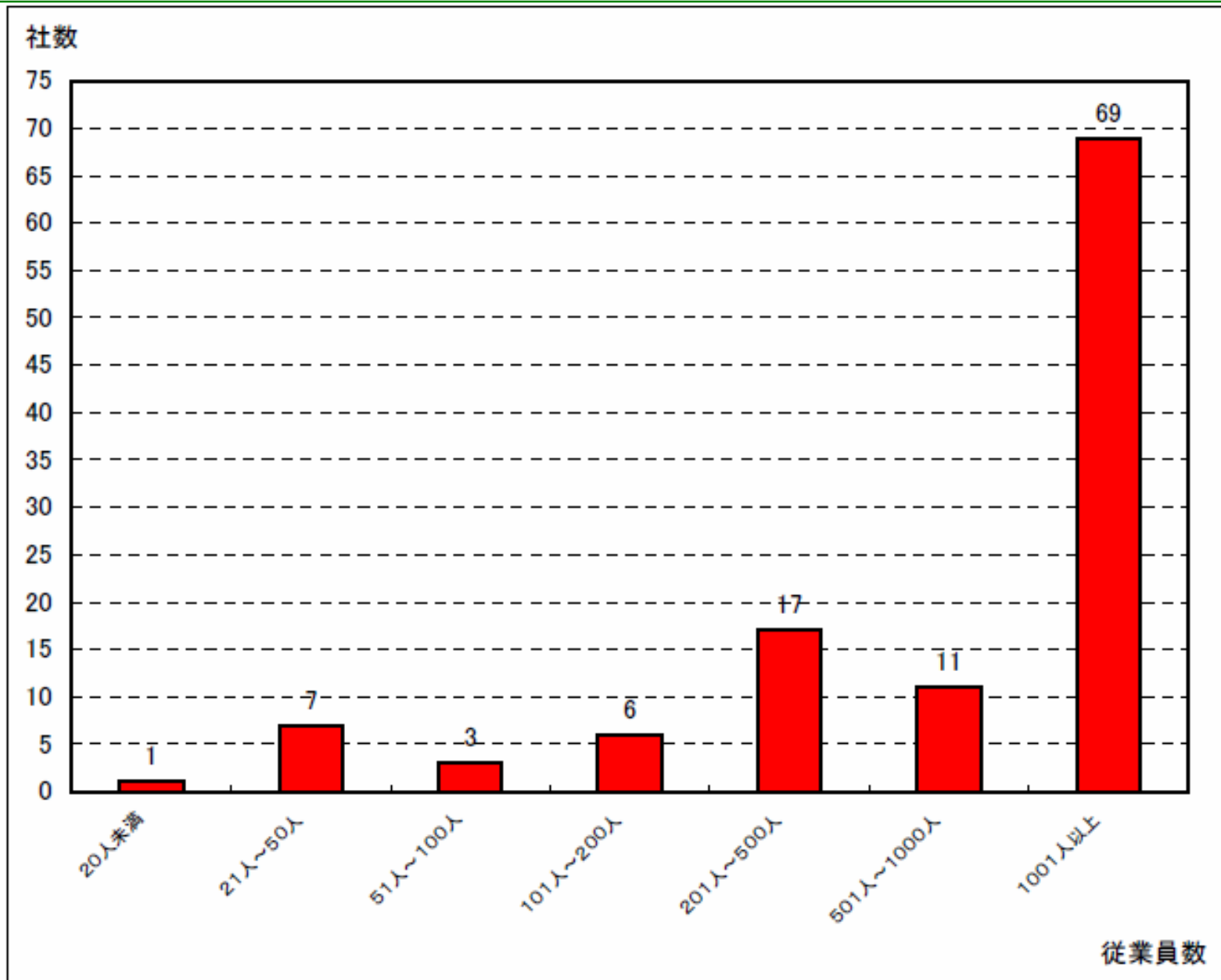
→1,000億円以上が約45%を占める。

2-2-3. 回答数(年間売上高別_業種別)

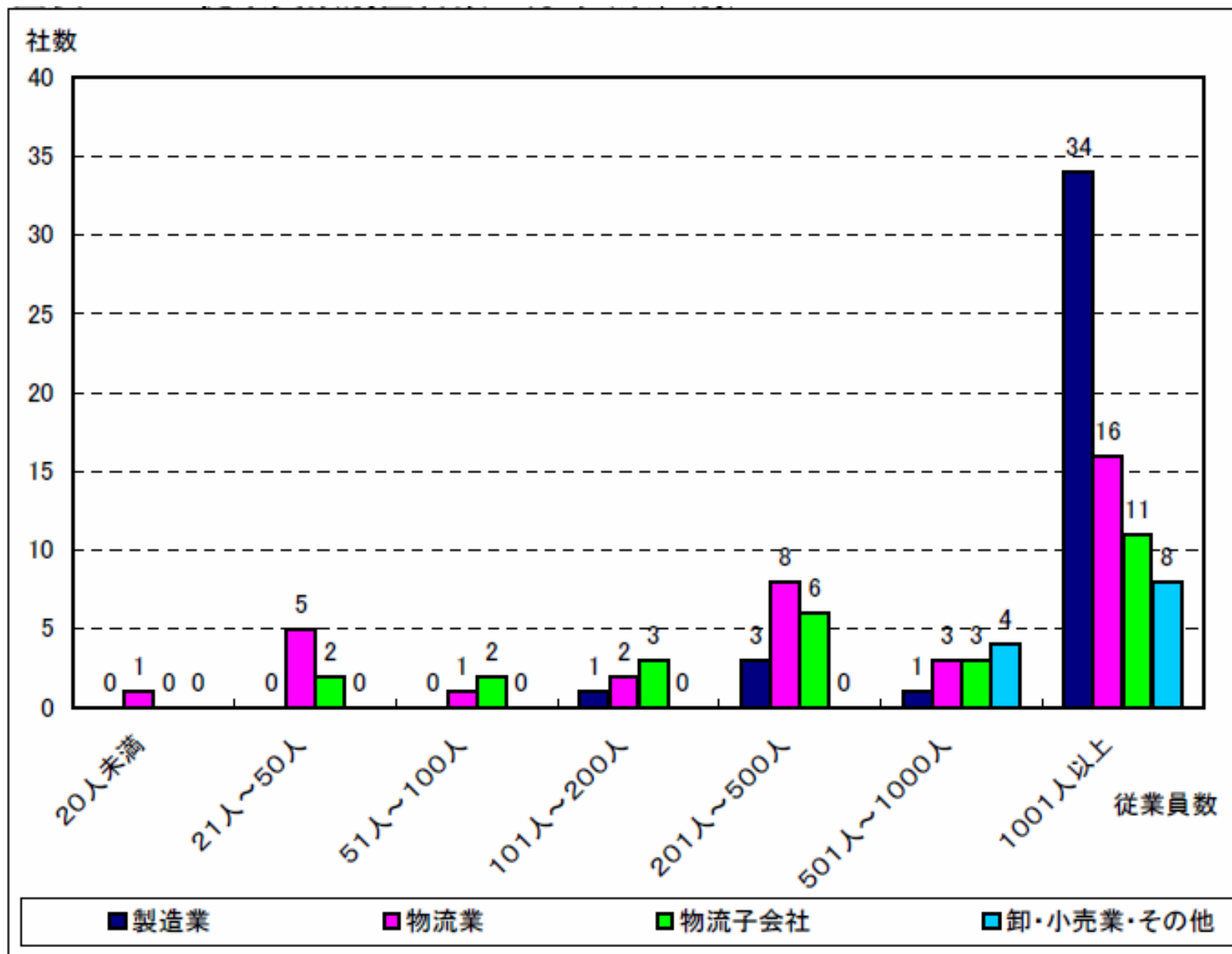


→1,000億円以上の大半は「製造業」、「卸等」が占める。

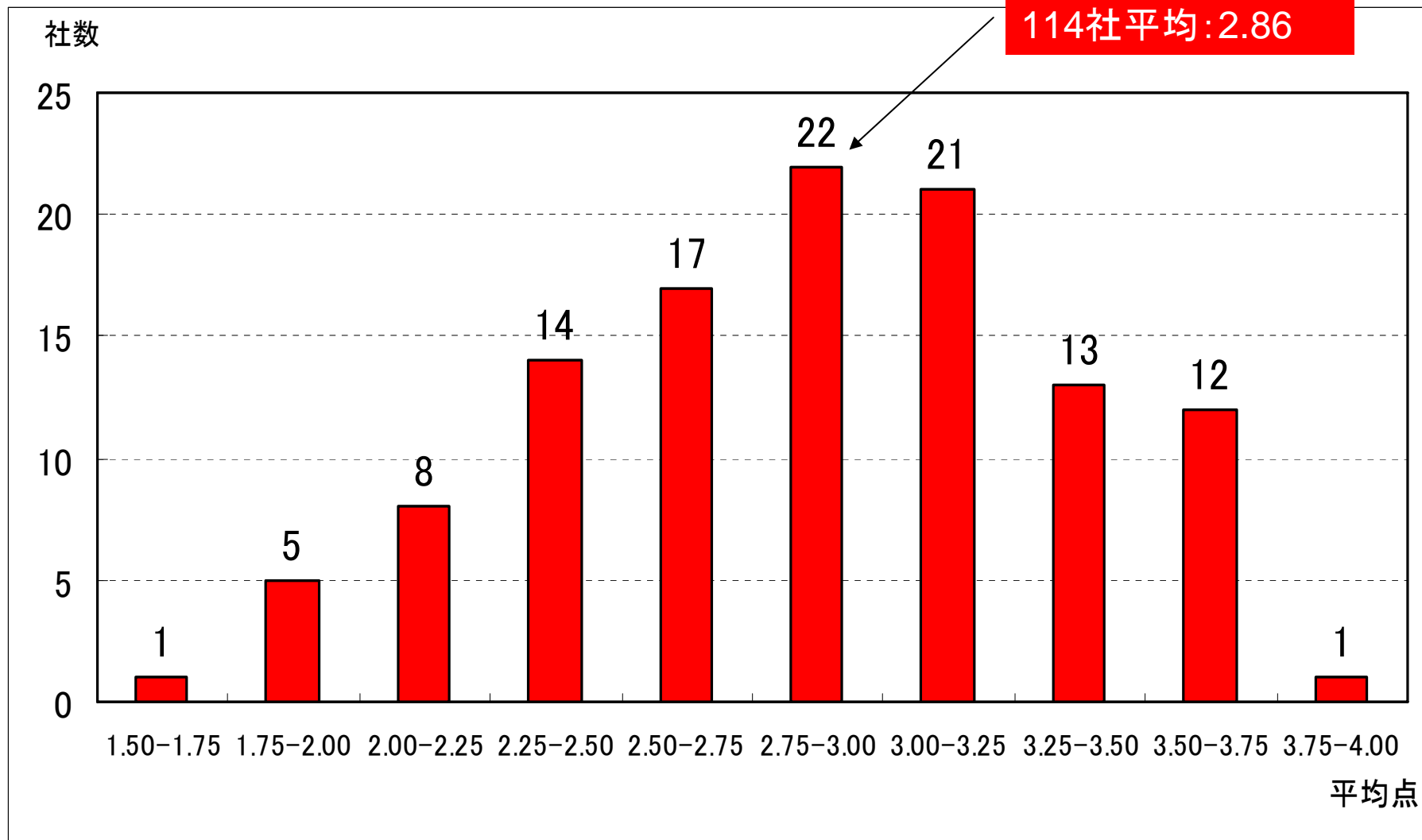
2-2-4. 回答数(従業員数別 全社)



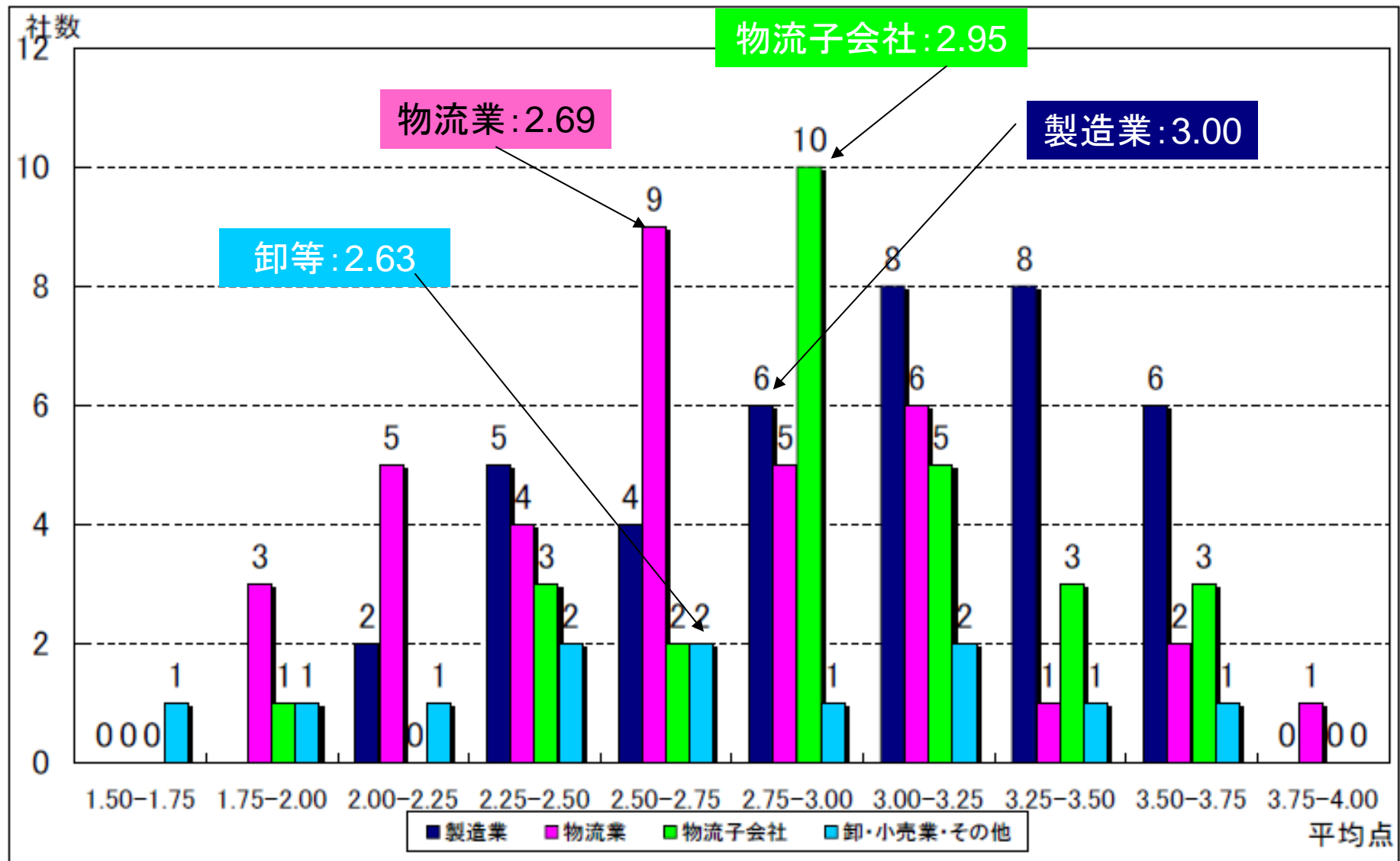
2-2-5. 回答数(従業員数別 業種別)



2-3-1. 全体結果(平均点__全社)



2-3-2. 全体結果(平均点__業種別)

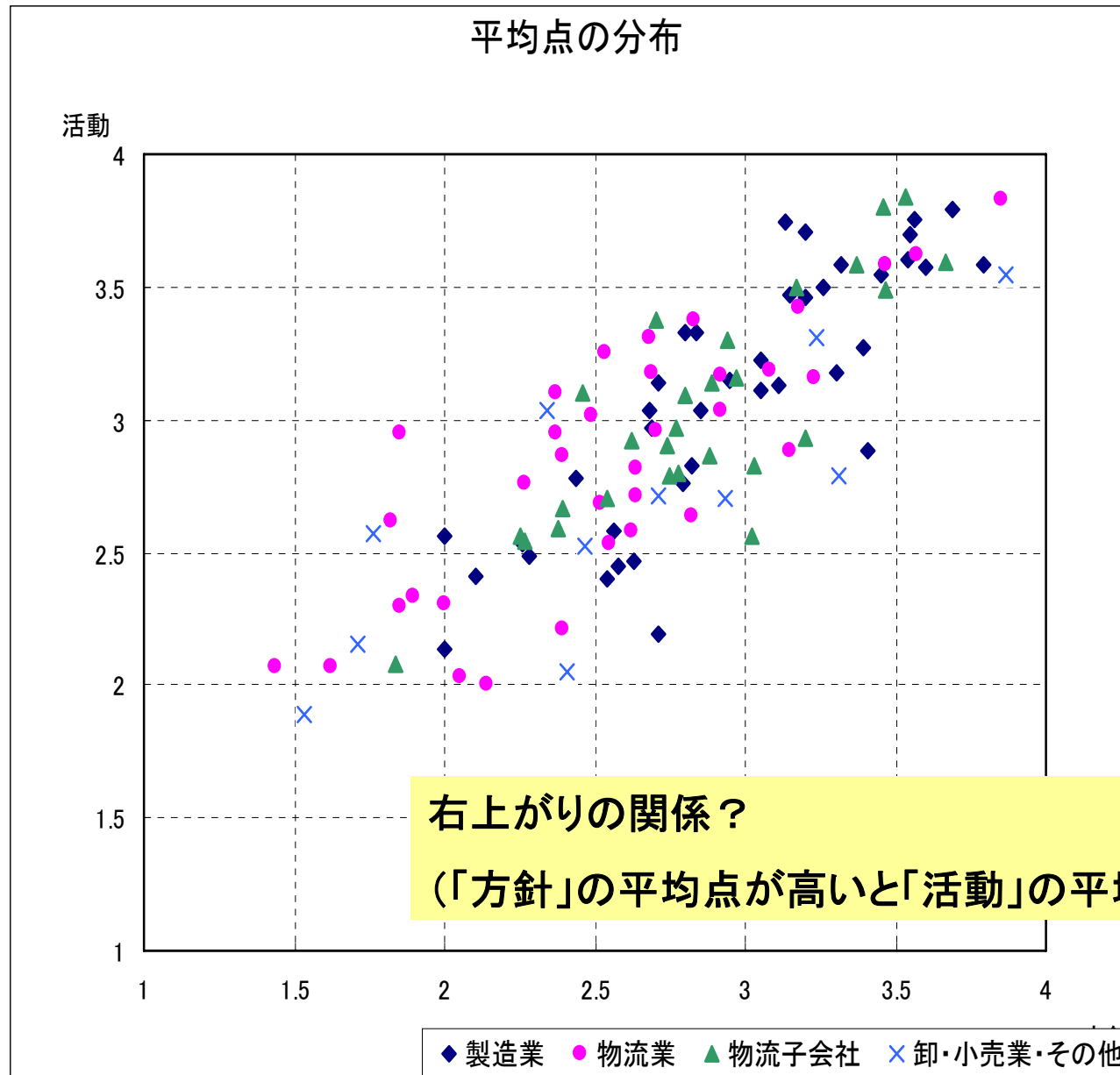


2-4-1. 「方針」—「活動」別結果(平均点(その1))

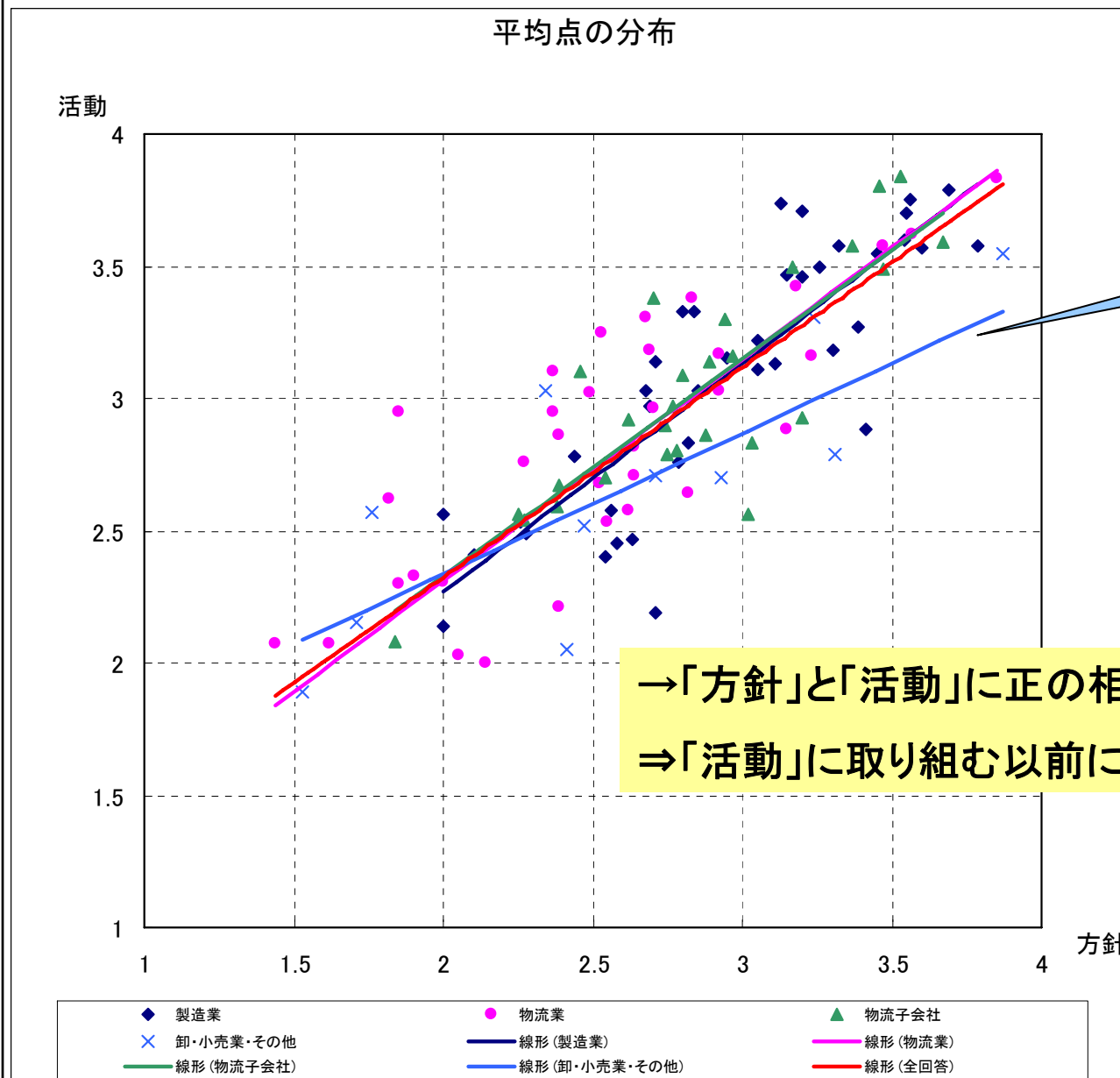
方針 /活動	全体 平均	業種別平均			
		製造業	物流業	物流 子会社	卸・小売・ その他
方針	2.76	2.94	2.54	2.85	2.54
活動	2.95	3.07	2.84	3.04	2.73

- 全ての業種で「方針」よりも「活動」の点数が高い。
特に「物流業」ではその差が顕著に現れている。
- 各回答企業の方針、活動の点数をプロット(次スライド)

2-4-2. 「方針」—「活動」別結果(平均点(その2))



2-4-3. 「方針」—「活動」別結果(平均点(その3))



卸・小売・その他

→「方針」と「活動」に正の相関がありそうだ。

⇒「活動」に取り組む以前に、「方針」の設定が重要

2-5-1. 「方針」の結果(大分類)

方針_大分類	全体平均	業種別平均			
		製造業	物流業	物流子会社	卸・小売・その他
1.1全社的な取り組み	2.82	3.06	2.53	2.98	2.57
1.2環境に配慮した製品開発・生産体制	2.76	2.95	2.54	2.96	1.90
1.3商取引の適正化	2.62	2.67	2.57	2.47	2.88
1.4ネットワーク設計	2.61	2.88	2.39	2.63	2.18
1.5情報化・標準化	2.56	2.70	2.40	2.59	2.38
1.6共同化	3.04	3.09	2.91	3.11	3.10

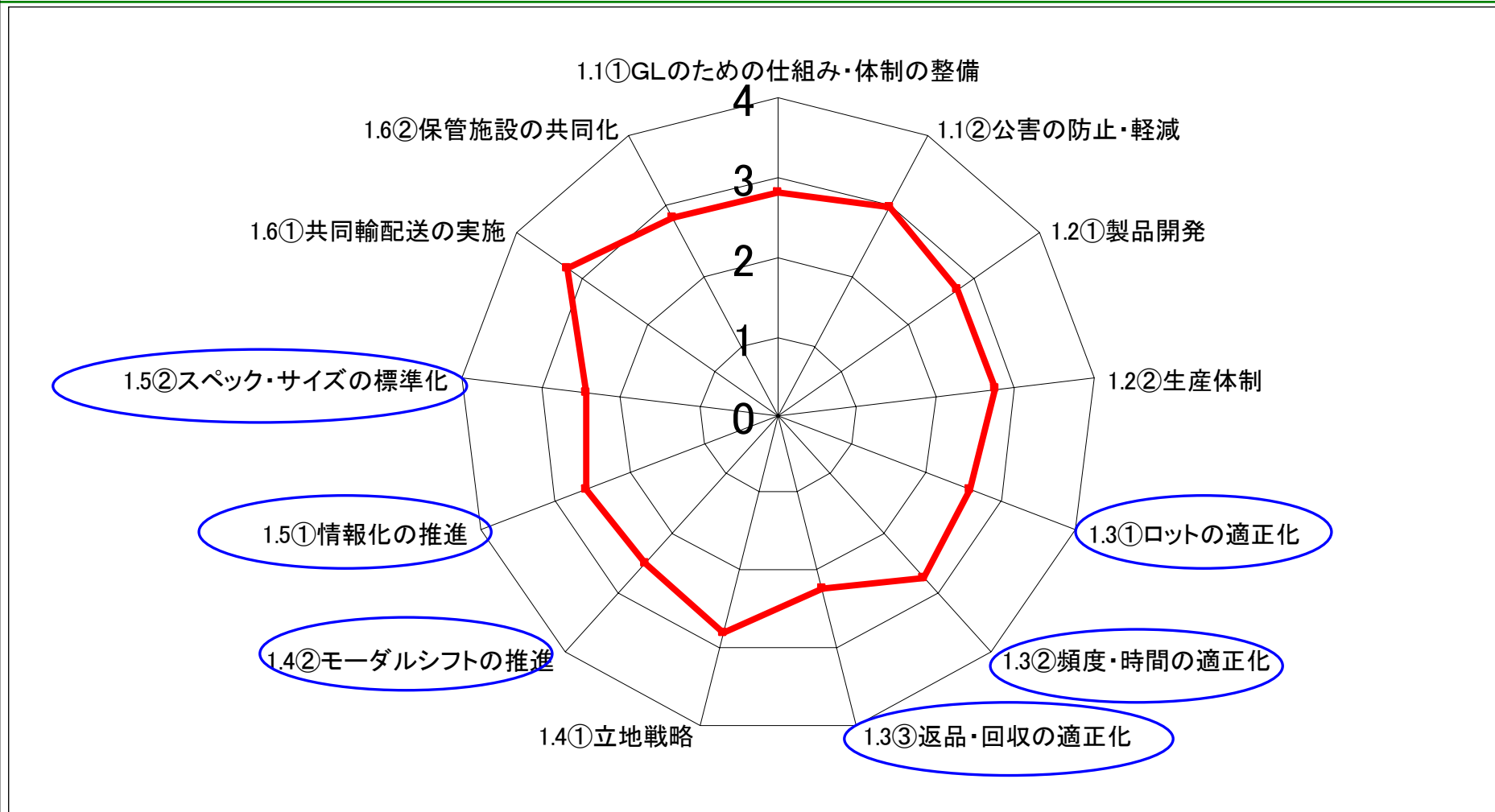
●全体傾向

- ・「方針」の全体平均(2.76)を下回っている分類
⇒1.3商取引の適正化、1.4ネットワーク設計、1.5情報化・標準化

●業種別傾向

- ・「製造業」、「物流子会社」の点数が高い分類
⇒1.1全社的な取組、1.2製品開発・生産体制、1.4ネットワーク設計、1.5情報化・標準化
- ・「卸等」、「製造業」の点数が高い分類 ⇒ 1.3商取引
- ・「物流業」を除いて総じて高い分類 ⇒ 1.6共同化

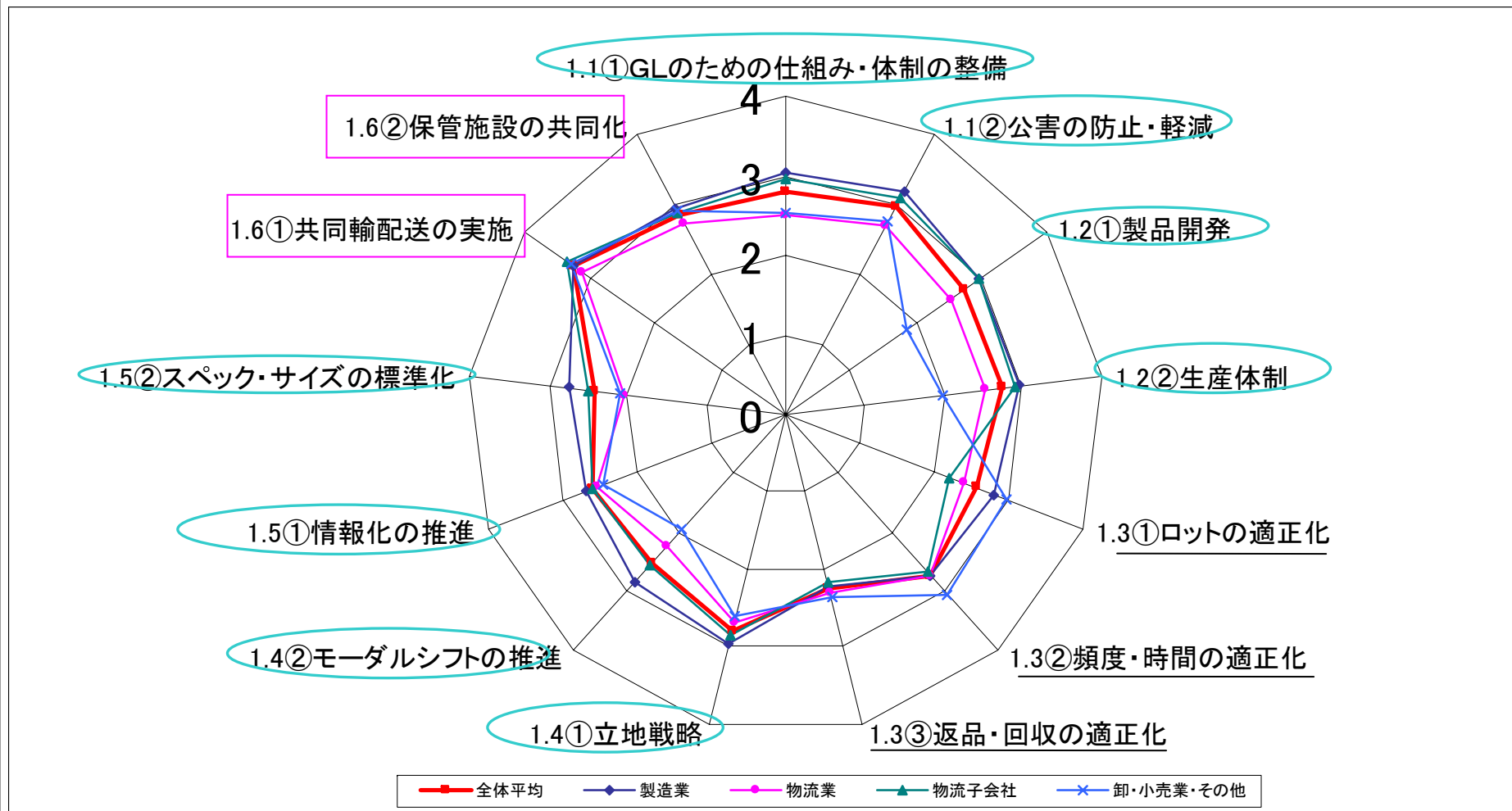
2-5-2. 「方針」の結果(中分類_ 全社)



【凡例】

○ …「方針」の平均点(2.76)より低い中分類項目

2-5-3. 「方針」の結果(中分類__業種別)



- 【凡例】
- …「製造業」、「物流子会社」の点数が高い中分類項目
 - …「卸等」の点数が高い中分類項目
 - …業種による差異があまりない中分類項目

2-6-1. 「活動」の結果(大分類)

方針_大分類	全体平均	業種別平均			
		製造業	物流業	物流子会社	卸・小売・その他
2.1包装の見直し	2.89	3.13	2.59	3.02	2.49
2.2輸配送の見直し	2.95	3.03	2.91	3.02	2.66
2.3荷役・保管・流通加工の見直し	3.01	3.06	2.90	3.08	3.02

●包装

- ・「製造業」、「物流子会社」が平均よりも高い。

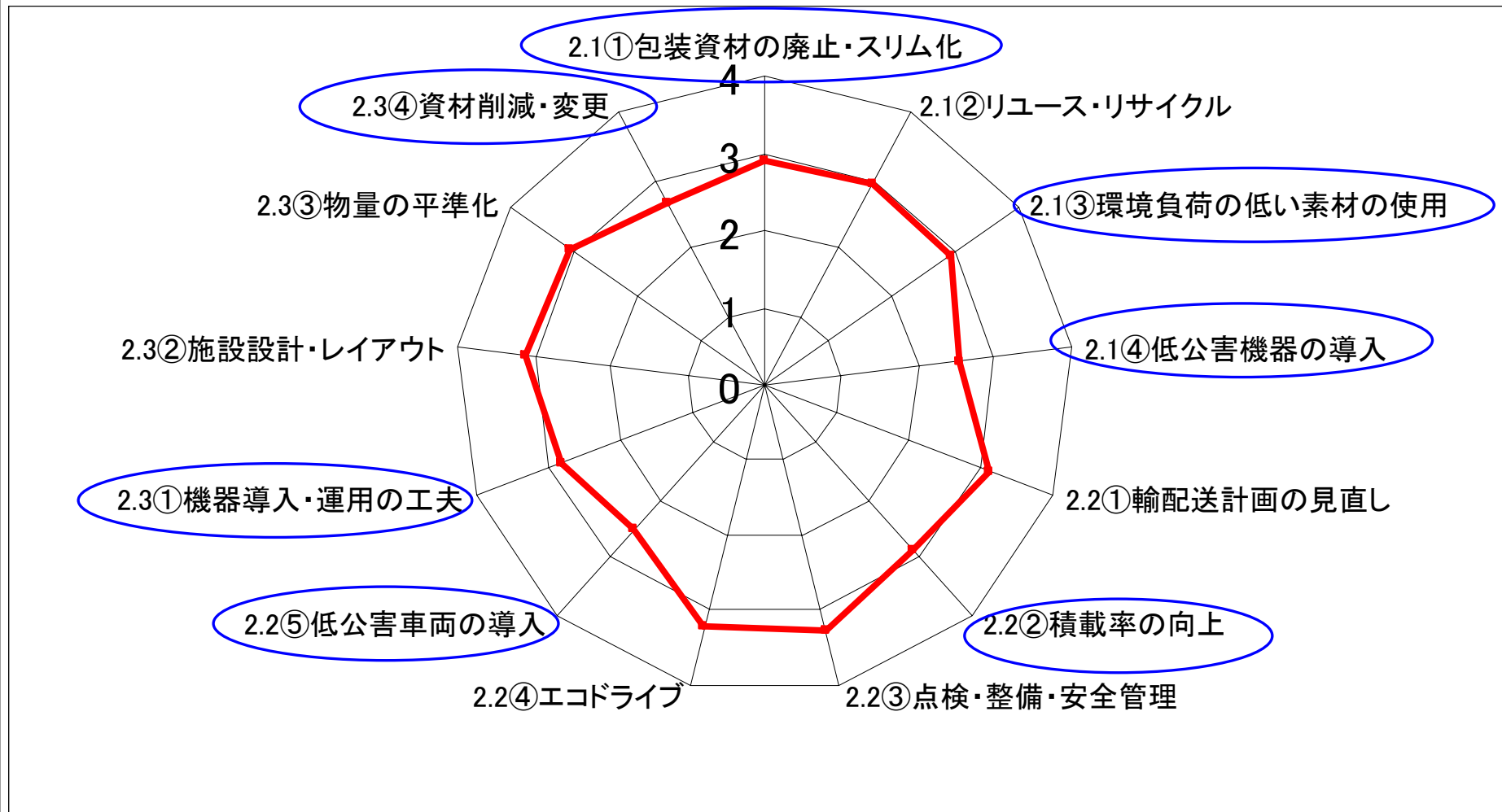
●輸配送

- ・「卸等」を除いて全体的に高い。

●荷役・保管・流通加工

- ・総じて高いものの、その中で比較すると「物流業」が低い。

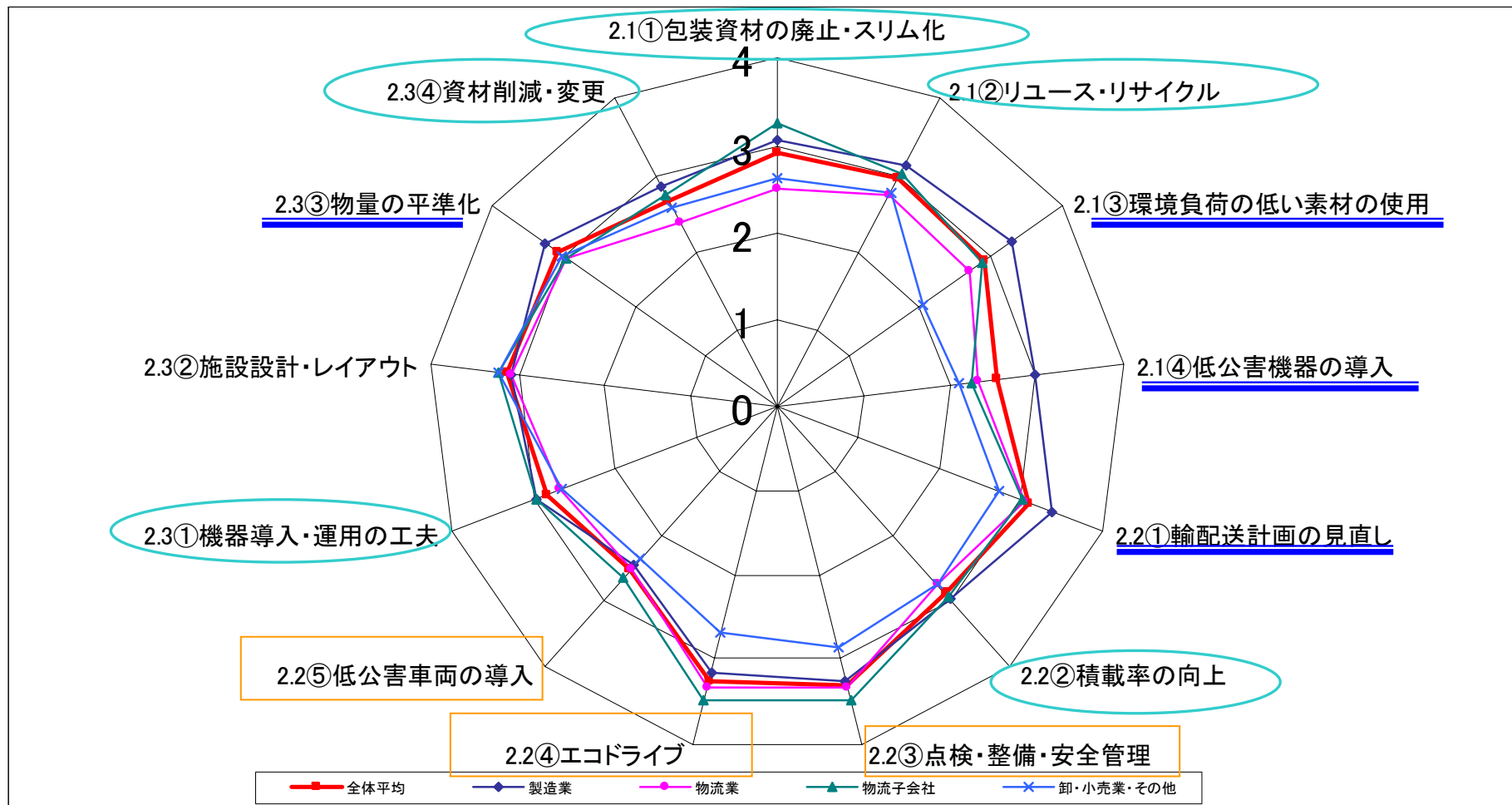
2-6-2. 「活動」の結果(中分類__ 全社)



【凡例】

○・・・「活動」の平均点(2.95)より低い中分類項目

2-6-3. 「活動」の結果(中分類__業種別)



- 【凡例】
- …「製造業」、「物流子会社」の点数が高い中分類項目
 - …「物流業」、「物流子会社」の点数が高い中分類項目
 - ▬ …「製造業」のみ点数が高い中分類項目

2-7-1. 項目別の比較

●項目別の比較

方法1: 簡易診断結果(←回答企業のみ)

方法2: 『集計結果』の図表6-1(一部抜粋)

設問番号	全体						合計	回答社数	全体平均	"0"回答率	モード (最頻値)	業種別平均			
	0 該当なし	1 出来ていない	2 遅れ気味	3 まずまず	4 よく出来ている							製造業	物流業	物流 子会社	卸・小売業 その他
1	0	7	7	22	78	399	114	3.5	0.0%	4	3.9	3	3.7	3.3	
2	3	8	16	18	69	370	111	3.3	2.6%	4	3.7	3	3.6	2.5	
3	3	8	33	35	35	319	111	2.9	2.6%	4	2.9	2.7	3.2	2.5	
4	2	12	14	40	46	344	112	3.1	1.8%	4	3.2	2.9	3.4	2.5	
5	3	10	26	51	24	311	111	2.8	2.6%	3	2.8	2.7	3.2	2.1	

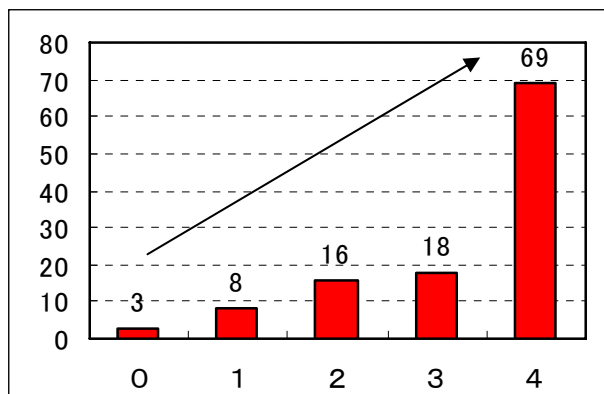
平均点で比較

⇒すべての項目の回答分布が正規分布的ではない。

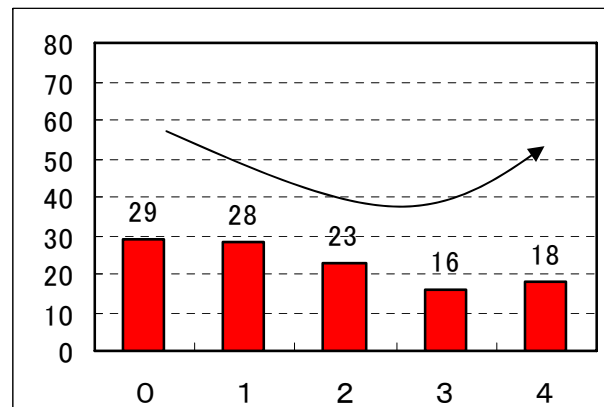
2-7-2. 回答分布の分析

● 回答分布の例

例1 設問2



例2 設問71

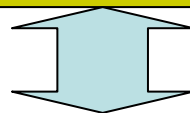


回答分布を類型化することで、
項目(=施策)の特徴(取組の困難/容易)が出てくるのではないか？

後ほどのパネルディスカッションで

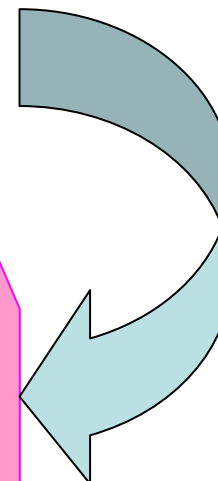
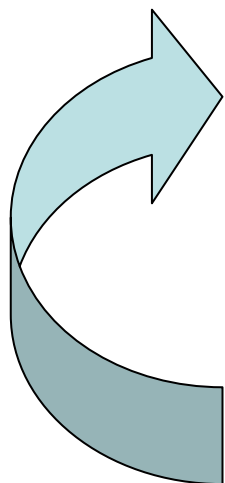
3. 今後の課題

企業等の環境取り組みの一助としていただく



1社でも多くの方に
ご活用いただく

- ・チェックリストの周知
- ・活用方法の周知
- ・診断結果の精度向上
- ・業種別結果算出の検討
- ・チェックリストそのものの見直し



(補足)これから回答したい方は・・・

「グリーンロジスティクスチェックリスト」のページ

<http://www.logistics.or.jp/green/report/08checklist.html> にアクセス

当該ページの下段にある

「グリーンロジスティクスチェックリスト調査のお願い」をご参照下さい。

(診断結果の送付は、3月末から4月上旬を予定)

グリーンロジスティクスチェックリスト - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス http://www.logistics.or.jp/green/report/08checklist.html

Google 検索

製造業・流通業・物流業のコラボレーションによる環境負荷の低減

ロジスティクス環境会議
Conference on Green Logistics in Japan

関連法規 関連リンク 用語解説 **グリーン物流パートナーシップ**

HOME > グリーンロジスティクスガイド > グリーンロジスティクスチェックリスト

グリーンロジスティクスチェックリスト

グリーンロジスティクスチェックリスト

「グリーンロジスティクスチェックリスト」は、ロジスティクス領域において、環境負荷低減のために必要な活動項目を整理しております。具体的に、本チェックリストには、輸送・包装・荷役・保管・流通加工といった各物流活動において、環境負荷低減のために取り組むべき項目(86項目)を示すとともに、各項目ごとに自社の取組度合いの測定が可能となる実施レベル(4段階)の設定、さらには行政、関係団体、企業事例等の参考情報を掲載しております。

なお、スペースの関係で本ページの下段には項目のみ記載された簡略版を掲載しておりますが、実際に回答する際、あるいは参考情報を参照される際には、下記をご使用ください。

[グリーンロジスティクスチェックリストVer1.0 完全版\(Excelファイル:150KB\)](#)

[グリーンロジスティクスチェックリストVer1.0 完全版\(PDFファイル:290KB\)](#)

[グリーンロジスティクスチェックリストの紹介等](#)

[グリーンロジスティクスガイドの概要をまとめたパワーポイントはこちら](#)

(回答された方に返却する簡易診断結果イメージも掲載しております) (PDF1.3MB)

ディスカッション | http://www.logistics.or.jp/ 上でディスカッションは利用できません。

インターネット

管理

グリーンロジスティクスエキスパート講座(2005年度～)

ロジスティクス領域での環境負荷の現状を定量的に把握し、その低減のための循環型システムを計画立案、推進、評価を実践できる人材を育成。本講座を修了し、所定の試験に合格した者には、「グリーンロジスティクス管理士」の資格を認定

グリーンロジスティクス管理士
資格認定者:111名

(2009年度の予定)
2009年7月～12月(延べ日数12日間)
第5期開講予定

実務

グリーン物流基礎コース(2006年度～)

物流・ロジスティクス分野における環境経営、環境関連法令、環境負荷低減施策の基礎知識を体系的に学び、基本的な環境負荷低減の計画、立案、実践ができる人材を育成する。

(2009年度の予定)
2009年7月・8月(3日間)大阪
2010年2月・3月(3日間)東京

→詳細は、本日お配りしております緑色のパンフレットをご参照下さい。

(目的)

ロジスティクス分野における環境負荷低減のために、荷主企業と物流企業等が、課題解決方策の検討や、有用となるツールの開発等を行う組織

(設立)

2003年11月13日設立

第1期活動期間:2003年11月～2006年3月

議長:張 富士夫 JILS会長 トヨタ自動車 代表取締役社長(当時)

第2期活動期間:2006年8月～2008年3月

議長:三村 明夫 JILS会長 新日本製鐵 代表取締役社長(当時)

第3期活動期間:2008年5月～2010年3月

議長:三村 明夫 JILS会長 新日本製鐵 代表取締役会長

(補足)ロジスティクス環境会議 組織体制 (2009年2月4日時点)

議長:三村 明夫(新日本製鐵(株) 代表取締役会長)
副議長:岡部 正彦(日本通運(株) 代表取締役会長)
副議長:鈴木 敏文(株イトーヨーカ堂 代表取締役会長 CEO)

ロジスティクス 環境会議(本会議)

メンバー:97社

企画運営委員会 (16名)

委員長:杉山 武彦
(一橋大学 学長)
副委員長:増井 忠幸
(武蔵工業大学 環境情報学部 学部長)
副委員長:高橋 信直
(新日本製鐵(株) 営業総括部 部長)
副委員長:牛込 達彦
(日本通運(株) 環境・社会貢献部 部長)

グリーン物流研究会 (90名)

幹事:下村 博史(株日本総合研究所 総合研究部門 上席主任研究員)
副幹事:鈴木 邦成(文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科 准教授)
副幹事:黒坂 真一(株ヤマタネ 情報本部 情報営業部 次長)

包装の適正化推進委員会 (26名)

委員長:増井 忠幸(武蔵工業大学 環境情報学部 学部長)
副委員長:藤井 幸則(オリンパス(株) 品質環境推進部 技術サポートグループ課長)
副委員長:麦田 耕治(日本通運(株) 環境・社会貢献部 専任部長)

グリーン物流推進のための 取引条件検討委員会 (50名)

委員長:山本 明弘(株日通総合研究所 物流技術環境部長 兼 環境グループ担当部長)
副委員長:大山 茂夫(第一貨物(株) CS・環境対策 担当部長)
副委員長:梅津 芳文(バンダイロジパル(株) 環境推進室 マネージャー)
副委員長:小島 賢次(リコーロジスティクス(株) 営業本部 審議役)

グリーンロジスティクス チェックリスト調査WG

幹事:矢野 裕児(流通経済大学 流通情報学部 教授)
幹事:菅田 勝(リコーロジスティクス(株) クオリティー(KAIZEN)アドバイザー
(株)ロジスティクス革新パートナーズ 代表取締役)

<グリーン物流研究会とは・・・>

- 月例会形式(年8回)でメンバー相互による事例発表や現場見学会を行っています。
- 研究会に参加するためには「ロジスティクス環境会議」へのお申込が必要となります。

<2008年度活動実績(テーマ別)>

1. 総論、動向

- ・日経BP社、文化ファッション大学院大学、拓殖大学

2. 行政施策

- ・国土交通省、環境省、東京都/吉祥寺市

3. 輸送

- ・国土交通省、アスア、住金物産、NECロジスティクス、明治乳業、SBSホールディングス、ランコム、山九、新日石プラスト、光英システム

4. 包装

- ・日本ビジネスロジスティクス、東京大学/オリンパス、NECロジスティクス

5. 3R

- ・環境省、ユニー、日本アイ・ビー・エム/日本ビジネスロジスティクス、山九

6. 施設

- ・竹中工務店